

社会資本総合整備計画書(第1回変更)  
(愛知県・安城市)

平成26年3月

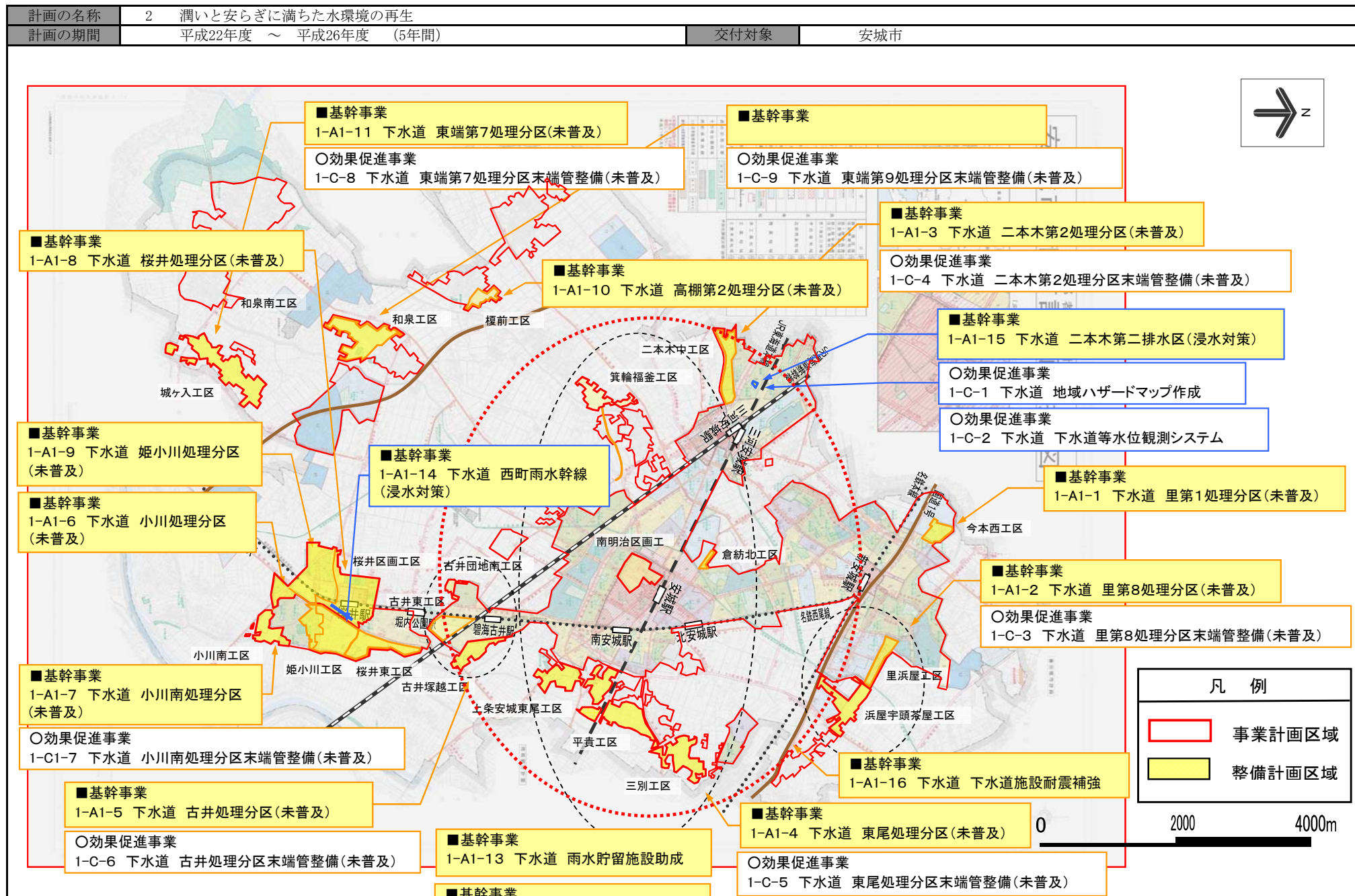
社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成 26 年 3 月 13 日

計画の名称	2 潤いと安らぎに満ちた水環境の再生			交付対象	安城市												
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）																
計画の目標	市民生活との共存を図りながら本市の自然を守り育てるため、市民と協働して水循環の再生を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理人口普及率（%）：市内の行政人口に対する下水道が使える（下水道供用）区域内の人口の割合を69.5%（H21末）から76.0%（H26末）に引き上げる。</li> <li>・市民の河川整備に対する満足度（%）：市民アンケートのうち「河川の整備」に関して“満足である”とした割合を46.1%（H21末）から48.0%（H26末）に引き上げる。</li> <li>・マンホールの浮上防止対策率（%）：安城市下水道総合地震対策計画（緊急対策）のうちマンホールの浮上防止対策について、27箇所中8箇所（29.6%）の対策を行う。</li> <li>・マンホールトイレの設置率（%）：安城市下水道総合地震対策計画（緊急対策）のうちマンホールトイレの設置について、120基中45基（37.5%）の設置を行う。</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)											
■下水道が使える（下水道供用）区域内人口÷行政人口×100 市内の行政人口に対する下水道供用区域内の人口の割合				69.5%	—	76.0%											
■市民アンケートのうち「河川の整備」に関して“満足である”とした割合（%） （河川整備満足度）＝（無回答を除く「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）／（回答数）（%）				46.1% (H21調査)	—	48.0%											
■マンホールの浮上防止対策施工箇所数／浮上防止対策計画箇所数 計画箇所数に対する施工箇所の割合				0% (H25末)	—	29.6%											
■マンホールトイレの設置箇所数／設置計画箇所数 計画箇所数に対する施工箇所の割合				0% (H25末)	—	37.5%											
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,707百万円	A	3,295百万円	B	0百万円	C	412百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.1%							
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	里第1処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=1,888m	安城市						110	
1-A1-2	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	里第8処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=6,009m	安城市						464	
1-A1-3	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	二本木第2処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=4,177m	安城市						174	
1-A1-4	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東尾処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=14,322m	安城市						573	
1-A1-5	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	古井処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=2,705m	安城市						143	
1-A1-6	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	小川処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=1,636m	安城市						51	
1-A1-7	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	小川南処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=3,535m	安城市						181	
1-A1-8	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	桜井処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=7,930m	安城市						339	
1-A1-9	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	姫小川処理分区（未普及）	汚水管φ=200mm L=400m	安城市						8	
1-A1-10	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	高棚第2処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=830m	安城市						9	
1-A1-11	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東端第7処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=6,766m	安城市						287	
1-A1-12	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	東端第9処理分区（未普及）	汚水管φ=150mm L=4,096m	安城市						228	
1-A1-13	下水道	一般	安城市	間接	民間	雨水	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留施設 20基/年	安城市						5	新世代
1-A1-14	下水道	一般	安城市	直接	安城市	雨水	新設	西町雨水幹線（浸水対策）	雨水管 □2250×2250 mm L=250m	安城市						117	
1-A1-15	下水道	一般	安城市	直接	安城市	雨水	新設	二本木第二排水区（浸水対策）	調整池 6,140㎡	安城市						509	
1-A1-16	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	改築	下水道施設耐震補強	人孔浮上防止N=8箇所、設計N=1式	安城市						24	総合地震
1-A1-17	下水道	一般	安城市	直接	安城市	汚水	新設	マンホールトイレ設置	設置N=45基、設計N=1式	安城市						73	総合地震
小計（下水道事業）											3,295						
合計											3,295						

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1														0		
1-B-2														0		
1-B-3														0		
1-B-4														0		
1-B-5														0		
合計													0			
番号	備考															
1-B-1																
1-B-2																
1-B-3																
1-B-4																
1-B-5																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	地域ハザードマップ作成	二本木第二排水区における地域ハザードマップの作成	安城市						1	
1-C-2	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	下水道等水位観測システム	浸水常襲排水区における下水道等水位情報公開システムの構築	安城市						24	
1-C-3	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	里第8処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=1,025m	安城市						36	
1-C-4	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	二本木第2処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=178m	安城市						6	
1-C-5	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東尾処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=6,737m	安城市						233	
1-C-6	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	古井処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=1,243m	安城市						40	
1-C-7	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	小川南処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=549m	安城市						18	
1-C-8	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東端第7処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=722m	安城市						22	
1-C-9	下水道	一般	安城市	直接	安城市	新設	東端第9処理分区末端管整備（未普及）	汚水管 φ=150mm L=1,049m	安城市						32	
合計													412			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	二本木第二排水区（浸水対策）（1-A1-15）の地域住民によるワークショップによって地域ハザードマップを作成することにより、住民の防災意識の向上と災害時において適切な対応を促すことができ、浸水被害の軽減を図ることができる。															
1-C-2	浸水対策事業のソフト対策として下水道等の水位情報をインターネット上に公開することで、住民の防災意識の向上と災害時において適切な対応を促すことができ、浸水被害の軽減を図ることができる。															
1-C-3	里第8処理分区（未普及）（1-A1-2）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-4	二本木第2処理分区（未普及）（1-A1-3）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-5	東尾処理分区（未普及）（1-A1-4）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-6	古井処理分区（未普及）（1-A1-5）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-7	小川南処理分区（未普及）（1-A1-7）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-8	東端第7処理分区（未普及）（1-A1-11）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															
1-C-9	東端第9処理分区（未普及）（1-A1-12）で整備する汚水管と接続した末端汚水管を一体的に整備することにより、事業効果が促進され普及率の向上を図ることができる。															

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(水の安全・安心基盤整備)

計画の名称: 潤いと安らぎに満ちた水環境の再生

事業主体名: 安城市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画との適合等</b>	
1) 計画の目標が基本計画と適合している。 1 安城市総合計画 2 安城市環境基本計画 3 安城市社会資本整備方針	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 1 知多湾等流域別下水道整備総合計画 2 矢作川・境川流域関連安城市公共下水道基本計画	○
3) 各種事業計画が策定され、適合している。 1 矢作川・境川流域関連安城市公共下水道事業計画	○
<b>②地域の課題への対応</b>	
1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2) 生活環境の向上と公共用水域の水質保全是地域の位置づけが高い。	○
<b>II. 計画の効果・効率性</b>	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 基幹事業と効果促進事業との一体性が確保されている。	○
3) 接続促進の取り組みが行なわれ、効果が得られるものとなっている。	○
<b>III. 計画の実現可能性</b>	
<b>⑤円滑な事業執行の環境</b>	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 継続的に事業が行われており、計画について住民等からも理解されている。	○
3) 事業に対する地元の要望が強く、事業実施のための環境整備が図られている。	○